

平成22年第3回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者		
9月3日(金)	午前	1	齋藤 廣吉	議員
	午後	2	本多 了一	議員
		3	金子 正子	議員
		4	埴 豊	議員
6日(月)	午前	5	土田 昇	議員
		6	齋藤 紀美江	議員
	午後	7	齋藤 信行	議員
		8	中條 征男	議員
		9	大岩 勉	議員
		10	長井 由喜雄	議員
7日(火)	午前	11	山崎 雅男	議員
		12	中山 眞二	議員
	午後	13	大原 伊一	議員
		14	白倉 賢一	議員
		15	阿部 健二	議員
		16	タナカ・キン	議員

平成22年第3回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	齋藤 廣吉	<p>1. 市長とのふれあいトークについて</p> <p>(1) 7会場で行われたが、何名くらいの方々が参加されたか。</p> <p>(2) 当局は当初、何名くらいを見込んでいたか。</p> <p>(3) どのような要望があったか。</p> <p>(4) 要望については可能な限りやってもらいたいと思うがいかがか。</p> <p>(5) 市長は、今回のトークを終わっての感想は。</p> <p>2. 救急車の出動について</p> <p>(1) 年間かなり出動していると思うが、ここ数年の出動件数を伺う。</p> <p>(2) 通報を受けてから出動までの時間を伺う。</p> <p>(3) 現場到着から病院に向かうまでの平均時間は。また、今までに一番長く現場にいた時間はどのくらいか。</p> <p>3. 火災報知機の普及状況について</p> <p>(1) 火災報知機の普及状況はどのくらいか。</p> <p>(2) 来年5月末まで、全世帯設置しなければならないが、達成が可能か。</p> <p>(3) 去る4月21日、中島地内で発生した火災で1名の尊い生命が失われたが、火災報知機が設置されていたか。</p> <p>4. 選挙での繰り上げ投票ができないものか</p> <p>(1) 県内においても繰り上げ投票をしているところがあるが、燕市でもできないか。</p> <p>(2) できないならば、その理由は。</p> <p>(3) 各市町村の選管で繰り上げを決定することができないか。</p> <p>5. 分水北部地区の工業団地化、住宅団地化ができないか</p> <p>(1) 可動せきの改築に伴い発生した土置き場、県道と同じ高さにして地主に返すということで合意しているということですが本当か。</p> <p>(2) 埋め立ての経費が掛からないので、安く土地提供ができると思うが、市がそのような指導をする気があるかどうか。</p> <p>(3) 最近分譲した隣の弥彦村の価格と、吉田南小学校前の分譲価格を、分かっただらお聞かせください。</p> <p>(4) ここ数年の弥彦村の人口動向と、燕市の人口動向をお聞かせください。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	本 多 了 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 消費税問題を中心に問う。消費税はきわめて逆進性の高い庶民や中小零細業者の暮らしや営業に深刻な影響を与える税金であるが、鈴木市長はそれの持つ性格についてどのように認識しておられるか聞きたい。</p> <p>(2) 消費税は社会保障のためとって導入されたが、本当に社会保障に使われてきたと考えられるか。</p> <p>(3) 市長の立場として消費税増税ノーという声を政府に上げてもらいたいが。</p> <p>2. 燕市中小企業振興条例をどう生かすか</p> <p>(1) 市の商工行政は、振興条例の目的に常に立ち返って施策を打ち出していく必要があるのではないか。</p> <p>(2) 庁内に商工行政推進のためのプロジェクトを作ることを提案する。</p> <p>(3) 全業種の実態調査を実施することを提案する。</p> <p>(4) 国・県とのパイプをどう太くするか。</p> <p>3. 人間ドックの助成を増額することを求める</p> <p>(1) 74歳までの人には50%の助成があるが、もとの70%に戻すべきだ。</p> <p>(2) 75歳以上の方は後期高齢者の枠に入れられて人間ドックの助成はまったくない。広域連合に働きかけるべきだ。</p> <p>4. 税金の滞納者に対する対応について</p> <p>(1) 滞納者に対して税務職員は、親切に相談に乗っているのか、それとも取り立てオンリーの姿勢で臨んでいるのか。</p> <p>(2) 新潟県地方税徴収機構に渡した件数は。</p>
3	金 子 正 子	<p>1. 市有地の有効活用</p> <p>(1) 燕市全体の視野で、市有地の有効活用はどのように考えておられるのか。</p> <p>①旧吉田南小学校の敷地に、民間活力で市民ニーズの高い0歳～2歳児保育、休日夜間保育も視野に入れた保育サービスの充実や幼児教育の取り組みはどうか。地元の自治会からの要望である、「会館の用地を確保してほしい」との声にどう取り組むのか。</p> <p>②旧燕工業高校の校舎・敷地の再利用として、障がい者スペースの確保や通所で日中活動できる場としての検討はどこまで進んでいるのか。</p> <p>③新庁舎完成後の3地区の庁舎、敷地はどうか。</p> <p>(2) 吉田地区のガス事業譲渡清算金を活用して、吉田小学校敷地内にある吉田給食センターを粟生津地内の市有地に移転し、アレルギー対応食を調理する「アレルギー室」を設けた改築をされてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	金子正子	<p>2. 心豊かな人づくり</p> <p>(1) 障がい者の就労のための訓練や就労の機会の確保の充実、また、若者の社会的自立を支援していくための若者サポートステーションの設置や相談業務等の実施は、どのように取り組まれていかれるのか。</p> <p>(2) 21世紀の子どもたちを育成するリーダー研修として、幕末から明治にかけて有能な人材を数多く輩出した日本有数の私塾「長善館」の精神の継承は、どのように取り組まれていかれるのか。</p> <p>3. 少子化対策</p> <p>(1) 多くの市民から要望のある病後児の保育サービスは、市としてどのように考えておられるのか。</p> <p>(2) 子どもが欲しくても産まれないために、特定の不妊治療を行っている市民の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療に要する費用の一部について助成されてはどうか。</p>
4	埜 豊	<p>1. 燕市の財政状況と23年度予算編成に向けて</p> <p>(1) 21年度決算を踏まえての、22年度燕市予算の状況について。</p> <p>(2) 国の歳出枠71兆円の影響について。</p> <p>(3) 市税収納状況と、来年度の見込みをどのように考えるか。</p> <p>(4) 当初予算に見込む人件費などの予算計上について。</p> <p>2. 教育問題について</p> <p>(1) 教育立市宣言以来、今日までの問題点と今後の取り組み方針について。</p> <p>(2) 幼稚園、保育園施設の統廃合問題と老朽化と耐震問題に対する取り組みについて。</p> <p>3. 燕市産業界の将来展望について</p> <p>(1) 今回の訪中で感じた中国市場の将来性と、燕市産業界中国市場進出の可能性と課題について。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	土 田 昇	<p>1. 国道 116 号線吉田バイパス（仮称）の経過と今後の対応について</p> <p>(1) 国道 116 号線のバイパス問題は、交通渋滞や事故、騒音等々の問題を解消するために、旧吉田町で平成 11 年から 14 年にかけて「吉田町まちづくり整備計画」を策定して、どうにか平成 19 年 6 月に産業会館で吉田バイパス地元説明会が開催されました。</p> <p>そのような状況の中で、平成 20 年 12 月に予定されていた法線決定の地元説明会が突然中止になったので、地元の方々はそれ以後どのように進んでいるのか確認したいということが、今現在大きな問題になってきているが、それ以後の経過について何うと同時に、燕市として地元説明会の予定についてどのように考えているか何う。</p> <p>(2) 今後の対応として、新庁舎の取り付け道路及び都市計画も含めて、市長はどのような認識で今後対応されるのか何う。</p> <p>(3) 問題が解決するまで、車での通勤者の方々は、渋滞を避けるため農道や生活道路に進入し危険である。生活道路の整備促進が必要と思うが、その対策についてどのように考えているか何う。(95 号線の問題も含めて何う。)</p> <p>2. 吉田南小学校の跡地利用について</p> <p>(1) 吉田南小学校の解体予定の時期と予算も含めて何う。</p> <p>(2) 跡地利用については、地元東栄町（443 世帯）の会館が狭くて駐車場もなく、合併前の金子町長、泉町長、そして合併後の小林市長に会館の建て替え用地として、吉田南小学校の跡地 200 坪を提供してほしいと申し入れしてきた過去の経過があります。小林市長のときには文書でお願いしていると聞いていますが、地元東栄町の要望に応えるために、市長はどのように考えているか何う。 (合併前の金子町長、泉町長はその点について了解していました)</p> <p>(3) それ以外の跡地利用については、地元の意見を最大限尊重して対応すべきと思うが、市長の認識について何う。</p> <p>3. 粟生津小学校、吉田北小学校の大規模改造事業について</p> <p>(1) ガス事業譲渡清算金活用基金で、平成 26 年に粟生津小、吉田北小とも 1,400 万円余の繰り入れで大規模改造事業の実施設計を予定しているが、もっと早くする必要があると思う。市長はどのように認識しているか何う。 (特例債は 27 年度で終了するからその関係で何う。)</p> <p>4. 新庁舎完成の記念植樹について</p> <p>(1) 非核平和都市宣言を行っている燕市として、被爆クスノキを植樹することによって燕市の子どもたちには平和学習の生きた教材になると思うが、市長の見解について何う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	齋藤紀美江	<p>1. 教育の取り組みについて</p> <p>(1) これからはアジアの時代といわれている。日本はアジアに属している国であり、アジアとの人的交流や経済的な交流を進めるべきだと思うが、上海に行かれての手応えはどうか。アジアとの交流の進め方の考えはどうか。グローバル化の中で、国際的な思考のできる人材を育てるための手だてはあるのか。</p> <p>(2) 新教育長の教育観は。</p> <p>(3) 読書活動への取り組みを活かした、全中学生有志による「朗読劇」上演は考えられないか。</p> <p>(4) 若者たちの創作活動や文化活動のために、公民館を活用するという答弁だったが、具体的なプログラムを考えられたか。</p> <p>(5) 新学習指導要領で学校飼育動物は継続的な飼育を行うように規定された。新学習指導要領は23年度完全実施になる対応に向けて取り組みは進んでいるのか。学校飼育動物県央公開講座に出席されてのご感想は。</p> <p>(6) 幼保・学校の統廃合問題は具体的な方向へ進んでいるのか。</p> <p>(7) 就学援助について、申請状況、認定状況、認定基準、受給割合は。</p> <p>2. 障がいなんでも相談窓口の設置について</p> <p>(1) 障がいがあってもいきいきと暮らせるまちは、市長の言う心も制度もハードの面でもバリアフリーの進んだホスピタリティあふれる指標の高いまちになる。ふれあいトークで聾啞協会の人たちが、4会場に参加され熱心に質問をされていた。ろうあに限らずどのような障がいであれ、相談に乗ってほしいことはたくさんあると思う。相談体制はどうなっているのか。</p> <p>(2) 就労支援の体制はどうか。</p> <p>(3) 災害時の対応は検討されているのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	齋藤 信行	<p>1. 国上山周辺の観光資源の整備と国上連絡道路について</p> <p>燕市では、産業観光振興支援事業委託ということで、燕市ふれあい交流センター運営協議会との間で委託契約（9,316,000円）を結び、目的として新たな観光メニューの創出と、県内外からの観光誘客の増加を目的に雇用の創出を図り、産業観光事業を推進するとし、事業内容として</p> <p>①国上山周辺の観光資源と、和釘、キセル、金属洋食器の産業の歴史、文化を融合させた新たな体験型の産業観光事業を試験実施しながら、ニューツーリズムの創出を行う。</p> <p>②産業観光推進員を2名雇用し、道の駅国上に1名、磨き屋一番館及び産業史料館兼務で1名を配置。国上山周辺整備、体験、交流型産業の推進を行う。さらに、道の駅国上では弥彦、岩室、寺泊と連携した広域観光を推進する。としているが、具体的に今後どのような方向へ持っていくのかお伺いしたい。</p> <p>また、その中で国上山周辺の観光資源の整備として、1,068,288円でシルバー人材センターと委託契約（新規雇用者3名）して、国上山の遊歩道等や沢の草刈りなどの環境整備を行っているとしている。</p> <p>私はその中で、国上連絡道路などの計画もあり、最近ではてまりの湯の入館者数も毎年増加する中で、地元長辰地区ではほたるに対する環境整備を行っていると聞いています。今後、市では国上山周辺の環境整備をどのような方向へ持っていくのか、それと、国上連絡道路がいつごろの開通になるのかお伺いしたい。</p> <p>また、他の市などでやっている昆虫園などもどうかもお伺いしたい。</p> <p>2. 市長の中国へのセールスについて</p> <p>市長は今回の中国訪問で、どのように感じて来られたのかお伺いしたい。</p> <p>3. 外部からの人材と教育立市宣言について</p> <p>私は外部からの人材登用については、以前にも一般質問でお伺いしたことがありますが、今回は新しい教育長になりましたので、燕市では「教育立市宣言」を行っていますが、新教育長にはその辺を含めた中でどう燕市を感じたかお伺いしたいと思います。</p> <p>4. 授業参観について</p> <p>燕市内では、土、日、祝日に授業参観を行っている学校と行っていない学校がありますが、働く女性のためにも土、日、祝日行えたらいいのではないかと思いますがいかがなものでしょうか。年間の計画の中でやっている学校もあるので、行っていない学校もお願いしたいと思います。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	中 條 征 男	<p>1. 地方税徴収機構について</p> <p>(1) 県民税、市町村民税など、住民税の滞納を減らす目的で、「県地方税徴収機構」を平成21年4月に設立してから1年以上が過ぎた。発足後の徴収状況を伺う。</p> <p>①徴収効果が以前より上がったか。</p> <p>②機構の徴収対象になるのは、滞納額の大小で行うのか。</p> <p>③滞納者への説明、および連絡は、どのような方法で行っているのか。</p> <p>④現在、燕市の滞納件数は。</p> <p>2. 緊急雇用事業について</p> <p>(1) アンテナショップえちご燕物産館は、東京都内で2店舗の営業を行っているが、雇用再生特別事業が終了する平成23年度以降も継続するのか。</p> <p>(2) 産業関連以外にも、町田市との関係を深めていく方針があるか伺う。</p> <p>(3) 両国店については事業終了後の計画は。</p>
9	大 岩 勉	<p>1. 市長とのふれあいトークについて</p> <p>(1) 市民からは、どのような意見が多く寄せられたのか。具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>2. 県央地域の救急医療体制等の整備、構築を実現すべく、早急な対応を「子宮頸がん」予防接種に、全額市の助成を考えるべきでないか</p> <p>(1) 県央圏域における医療体制の整備、構築を考え、一日も早く「救命救急センター」建設に向けスピードアップする努力と、燕案として「燕労災病院」隣に併設を考えられないか、提案されたらどうか。</p> <p>(2) 厚生労働省が2011年度政府予算で「子宮頸がん」を予防するワクチン接種の助成事業を新たに設け、約150億円を盛り込むとのこと。県内でも5市町村が全額助成を決め、一部自治体では既に接種を行っています。燕市でも取り組むべきではないか。</p> <p>3. 高齢者支援ネットワーク整備事業の取り組みについて</p> <p>(1) 高齢化が進み、高齢者世帯が増えており、日常生活の安全・安心の確保を最重要課題としてとらえ、それらを支えるシステムづくりが必要でないか。</p> <p>(2) 高齢者の所在不明が社会問題化している。県内30市町村調査で所在不明者情報はなかったとのことだが、燕市ではどのような所在確認調査をされたのか。</p> <p>4. 教育振興対策について</p> <p>(1) 本市の児童、生徒の学力と体力の現状をどのように認識し、向上対策を教育委員会でどのように議論し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(2) 学校の管理職は教員との連携が重要であると思うが、どのような視点で現状の体制はうまくいっているのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	長井由喜雄	<p>1. 燕市の子育て施策について</p> <p>(1) 燕市の幼児保育・幼児教育環境について</p> <p>①「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」について 国が6月25日に示した「子ども・子育て新システム基本制度案要綱」の自身は、保育制度を国の責任を後退させ、地方自治体に責任転嫁する重大な問題があると思うが、教育委員会の考えはどうか。</p> <p>②「燕市幼児保育・幼児教育基本計画」全般について 教育長及び担当教育次長は、昨年3月に示された「燕市幼児保育・幼児教育基本計画」についてどういう立場でこの計画に臨んでいかれるか。</p> <p>③公立保育園における乳児保育の受入拡大について 燕地区では小池・八王寺地域、吉田地区では粟生津・西太田地域で乳児保育施設の新設が必要ではないのか。燕市全体としての受入拡大を考えたときには乳児保育実施施設での定員拡大も視野に入れ、看護師や保健師の子育て支援課としての配置も必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 来年度からの医療費助成年齢拡大を 再三取り上げている問題であるが、9月現在の医療費助成年齢は、通院助成で就学前までを基本として、3人以上子どもがいる世帯のみが小学校6年生までに拡大された。 子育てで支援で、このような子どもの数で差別するようなことはするべきではない。来年度から、当面小学校6年生までの全員を対象とする助成拡大を実施し、県内最下位レベルを脱してほしい。</p> <p>(3) 燕市独自に、企業・商店などと連携した子育て応援システムの確立を 燕市内に在住するすべての子育て世帯に対し、企業・商店協賛による「子育て応援カード」で特典を付けていくような取り組みを始められないか。そのほか、子育て中の親との意見交換を行い、燕市独自の子育て応援のシステム作りを目指してほしい。</p> <p>2. 燕市の介護保険について</p> <p>(1) 燕市の介護保険の現状について 介護保険制度は現在第4期の計画を実施中だが、保険者として率直にどう評価するか。また、課題はどこにあると考えるか。</p> <p>(2) 低所得状態にある方々の介護利用状況と市の支援について 高齢世帯のみ、あるいは、同居状態にある要介護者でも、生活状況の大変さの中で介護利用を控えている状況はないか。市はこれらを把握しているか。</p> <p>(3) 第5期の介護保険計画の検討にあたって 来年度から計画作りが始まる第5期の介護保険計画作成にあたっては、特別養護老人ホームなど施設建設について、現在の待機者数や今後の増加を見込み、保険者として必要な定員を定めてほしいと考えるが、いかがか。 市長は待機者解消についてどこまで踏み込んだ数値を盛り込むつもりか。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	長井由喜雄	<p>3. 燕市の人間ドック検診について</p> <p>(1) 国保検診メニューで補助しているものについては、人間ドックでも適用を。 人間ドックで一般的にオプションとなっている乳がん（マンモグラフィ）検診、前立腺（PSA）検査等は、国保検診の一部補助メニューとも重なっている。ドック実施医療機関と契約し、同額負担で済むようにしてほしい。市民の病気の早期発見や健康増進のためにも効果は大きい。</p>
11	山崎雅男	<p>1. 燕市発注の建設工事における市内業者の優先活用について</p> <p>(1) 市内企業は燕市の企業市民であり、市に納税、市内で消費をし市民を雇用して地域経済を支え厳しい経済状況下でも災害対策や対応で最大限市に協力して災害時の復旧・復興を支え社会、地域貢献もしており、地域密着の地元業者、建設業の健全な育成を市として第一義に考えるべきかと思うが、市内企業の受注を最優先または地元企業限定の工事拡大することはできないものか。</p> <p>(2) 地元企業が生き残ることができる環境を入札制度の中でキチンと位置付けなければならないと思うが、市内企業が受注できる最善の対応策として、燕市として基準を明確化することができないか。</p> <p>(3) 入札の理想は正確な積算と応札者の技術力や知恵に基づく価格競争かと思う。予定価格は元請け、下請け業者に締め付けることになりはしないか。確認の意味で予定価格はどのように決定されるのか。</p> <p>(4) 合併後、新燕市の建設工事等における市内業者の受注件数、および金額とそれぞれの全体に占める割合はどうか。</p> <p>(5) 公共工事の発注（入札）について、工事品質の確保や下請け業者への不当なしわ寄せが懸念される低入札への見解と対策についてどのように講じているのか。</p> <p>(6) 公共下水道吉田第1－1汚水幹線（NO. 3B他）敷設工事を含めた事業等、市内の中小建設業者を活用することにより、円滑かつ効率的な施行が期待できる工事については、極力分離・分割して発注することはできないものか。</p> <p>(7) ①一般競争入札の拡大により、入札、契約の透明性・競争性が高まる一方、最近では低入札による落札も顕在化し、マイナス面も抱えているが、市民の税金を使って行う契約であるので、低入札であっても高品質の成果が得られるのであれば問題はないが、工事の品質を確保しなければメンテナンス等々後々問題が発生しやすい。 低入札調査対象となった件数等合併後新燕市の状況についてと低入札に対する見解について伺う。</p> <p>②今までの低入札抑制対策及び今後の取り組みについて伺う。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
11	山 崎 雅 男	<p>2. 学校教育・教育行政の充実、取り組みについて</p> <p>(1) ①教育長として燕市学校教育・教育行政の取り組み姿勢と感性豊かな子どもの育成を図るための考え方について伺う。</p> <p>②学校教育・家庭教育・地域教育及び生涯教育に対する教育長の教育理念、及び燕市教育の基本方針が示す燕市教育のありかたに対する見解について伺う。</p> <p>(2) ①教育は一朝一夕に達成できるものでない。燕市民が家庭・学校・地域、それぞれの立場から協力して着実に推進していかなければ、宣言倒れ、教育長として燕市教育立市宣言に対しての捉え方と、今後の具体的方向性について伺う。</p> <p>②教育長として、越北之鴻都、幕末の漢学私塾長善館に対しての認識と学校教育への関わり、そして長善館等整備事業の今後の取り組み方向性について伺う。</p> <p>3. 市の公有財産と借地の運用状況について</p> <p>(1) ①昨年6月議会一般質問として取り上げた、市の公有財産と借地の運用状況について、昨今の厳しい財政事情下での行財政効率的運用の視点から、遊休財産と借地の検証が早急の課題ではないかとの問いに、今後、個々のケースを考慮して検討していかなければならないとの答弁内容であったが、検討、見直しをされたのか。</p> <p>②インターネットによる「たのうら燕」の公売状況はどうか。</p>
12	中 山 眞 二	<p>1. 産業について</p> <p>(1) 現在の景況状況についての報告を、仕事量、資金繰り、雇用状況、また、今後の見通しをお聞きしたい。</p> <p>(2) 新商品開発助成事業について</p> <p>①成果品の発表、展示が不十分ではないか。成果品のうまくいったところ失敗したところをしっかりと公表し、次につなげる施策ができていないように感じる。</p> <p>②プレゼンテーションによって、補助の割合が決まるようだが、補助率を決めた理由も公表して、次に申請を考えている人の指針となるようにしてはどうか。</p> <p>(3) 産業の発展は、衰退産業から成長産業へ、人材や資金が無理なく移転していくことにある。しかしながら市内には、低い工賃でやらなければ注文の取れない地場産業がまだ多くある。このことが途上国となんとか競争できている理由でもあるが、市長は上海を視察してきて、燕市の産業の未来をどのように感じておられるか。</p> <p>(4) 雇用助成金のない家内労働者の支援をどのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
12	中山 真 二	<p>2. 新庁舎について</p> <p>(1) 新庁舎を作るにあたり、合併特例債があるから安くできるというメリットは言われているが、作ることによって生まれるメリット・デメリットを数字の上でお聞かせ願いたい。 人件費、維持管理費、車両費、光熱費、修繕費など。</p> <p>(2) 燕庁舎は保健センターに、分水庁舎は消防署に、改築と跡地利用が計画されていたが、鈴木市長はそれを踏襲する予定か。</p> <p>3. 共助について</p> <p>(1) モノが豊かになった昨今、代わりに心が貧しくなったといわれる。市長の推進する共助の精神はこれから大事なことと思う。そのためにも地域のボランティアグループの育成、また登録が必要と思う。それには年配の方の協力が必要である。ボランティアグループに「てまりの湯」の食事券付きの招待券を出してはどうか。</p> <p>4. 情報の共有化について</p> <p>(1) 全国で、いるはずの100歳以上の老人が実は亡くなっていたという事態が報告されている。 市役所内の情報の縦割り、過度の個人情報の保護も原因の一つではないか。 同じ市役所内の情報が、課によって見ることができないのが現状のようだが、役所の効率化、個人を守る意味でも市役所内の情報がある程度共有化してもいいのではなかろうか。</p> <p>5. 子ども園について</p> <p>(1) 国の方針が定まらない中、自治体も幼稚園や保育園の今後の方針が定まらないようだが、「子ども園はどこが違うんですか」とよく聞かれる。中間報告的にも保護者等に説明する時期にきているのではなかろうか。とりわけ南地区においての、幼稚園の小学校間借り状態に対し、いまだに方向性すら見えない。何らかの方向性は出たのか聞きたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	大 原 伊 一	<p>1. 新庁舎建設で市民から良かったと言われるサービスの充実を考えているのか</p> <p>(1) 市民から市役所が遠くなったと言われないうための市民サービス充実について。</p> <p>①現在 65 歳以上の高齢者世帯には、住民票等の無料配達をしているが、その範囲を全世帯対象とする考えはないのか。</p> <p>②コンビニ等での 24 時間対応可能な時代背景があるが、今後の対応について。</p> <p>2. 本市公共施設に所在地を置き活動している団体の現状について</p> <p>(1) 公共施設に所在地を置く団体（スポーツ団体、NPO 団体、福祉団体、市民活動団体等）との施設利用の実態と施設の使用許可について。</p> <p>①公共施設に所在地を置く団体の名称と利用の実態について。</p> <p>②現在、活動の所在地を公共施設に置いている団体の許可条件について。</p> <p>③公共施設に活動の拠点を置いている団体との契約の有無と、利用料金の額について。</p> <p>④公共施設を利用するすべての団体に対する公平性は保たれているのか。</p> <p>⑤コンプライアンス条例の制定の必要性を感じるがいかがか。</p> <p>3. 歯科における休日対応のできる歯科口腔保健センターの設立について</p> <p>(1) 燕市と県央地域において、歯科の休日急患歯科治療を行う施設がなく、新潟、もしくは長岡の休日歯科診療センターまで行かなければならず、非常に不便であり子どもを持つ親にとっては、急な歯痛など不安を抱えている。</p> <p>(2) 心身障がい者（児）の歯科治療や相談、口腔清掃訓練を行うための専門施設がなく、障がい者や家族は相談窓口の設置を求めている。</p> <p>(3) 高齢化社会の進展と共に在宅要介護者や、特養・老健施設への訪問歯科検診、訪問歯科治療、口腔ケアを円滑に行うため、行政・社会福祉協議会・歯科医師会との連携体制を強化するためにも、歯科口腔保健センターの設立が必要である。</p> <p>4. 今年の農産物の作況について</p> <p>(1) 今年は、春の低温と天候不順により農産物の生育が心配されたが、梅雨明けとともに異常な高温続きとなって、豊作だが品質が悪くなる等の懸念材料もある。現状の農作物の作況について。</p> <p>(2) 米については、持ち越し在庫が 70 ～ 80 万トンと言われ、大幅な米価下落が想定されて、現政権が目玉政策として打ち出した所得補償制度の 1 万 5 千円が大手卸の価格下げ圧力を大きくし、ほとんど相殺された結果をどのようにとらえているのか。</p> <p>(3) 人口減少国家となった今、農産物の輸出を真剣に模索すべき時でないのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	白 倉 賢 一	<p><u>1. 市長の市政運営の基本姿勢について</u> (1) 市長の掲げる3点の市政運営とその取り組みについて伺う。</p> <p><u>2. 少子化対策について、市長はどのような方策をお考えか</u> (1) 国は少子化対策としてこども手当を創設したが、しかしここに来て、国の財源不足等と併せて人口密集地帯（大都市圏）などでは、地方と違ってこどもが急増し保育施設等が不足している。そのため母親が仕事に支障を来し、こども手当を減額しても、こどもを施設に預ける場を創設してもらいたいとの要望がマスコミに取り上げられている。市長はこの問題について、どのようなお考えをお持ちか伺う。</p> <p><u>3. 3市町（燕市、吉田町、分水町）のガス譲渡金の現在までの収支状況について</u> (1) ガス譲渡金の現在までの各年度別利用状況、並びに3市町の現在の収支残高(利子含む) 内容について伺う。 (2) ガス譲渡金で計画されている未事業の内容、及び資金計画についても詳細について伺う。</p> <p><u>4. 救命救急センターの進捗状況について</u> (1) 県央地区における救命救急センターのその後の進捗状況、並びに今後の見通しについて伺う。</p> <p><u>5. 吉田地区の雇用促進住宅の現状及び今後の見通しについて</u> (1) 国の計画では、雇用促進住宅（80戸）は近い将来に地元市町村に移管するという話があったが、この問題についてどのような状況になっているか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p><u>1. 子どもたちの声が元気にひびくツバメを…</u></p> <p>(1) 『子どもはマチの宝、国の宝』</p> <p>「子どもは町の宝、国の宝」と自治基本条例にうたっているのが、福島県の矢祭町で「夢をもって子育て・子育てができる街づくりにつとめる」と続けています。</p> <p>一方、国は、少子高齢化による「労働力の減少や社会保障の負担増大」への危機感をあおりながら、次々と少子化対策を打ち出してきましたが、いっこうに少子化のとどまる気配がありません。</p> <p>『ほしい子どもの数は3人…しかし、実際の子どもの数は2人』</p> <p>この数字は全国的に見られる数字ですが、驚かされたのは、ある自治体の調査で「子どもはほしくない」が3%だったのに、実際に「子どもがいない」が25.8%という、子どもが欲しいけど持てない人たちの数字が出ていたことです。</p> <p>・その調査でも出生率低下の理由の最多が「経済的にゆとりがない」と「育児と仕事の両立がむずかしい」が前後しています。</p> <p>ところが、国の少子化対策では「仕事と子育ての両立」への取り組みはあるのに「経済的負担」への取り組みが見当たらないのです。</p> <p>Q①子育て世代が高い収入を得られる職種を燕に誘導することが必要と思うが…。</p> <p>(2) 『法律上、育児休業の権利があるのに…』</p> <p>育児休業をとると、もとの職場に復帰できないのが現実で、たとえば登録型派遣の場合、育児休業をとると実際には契約解除されてしまうのに、そのことを放置しながら、国は「仕事と子育ての両立」をうたっているのです。</p> <p>そして、「家庭より仕事を優先することが少子化の背景にある」などと、的はずれと思える分析をもとに少子化対策を作っているのが国のようです。</p> <p>Q②今回の国の『少子化対策プラスワン』に唯一、効果が上がりそうな取り組みが「育児休業取得促進奨励金」なのですが…育児休業に積極的な企業を優遇する市独自の奨励金を、他市町村に先がけて創設されては…。</p> <p>(3) 『育児には1,300万円…高校や大学の進学費をふくめると2,100万円』</p> <p>子どもを作るか、夏用の別荘を買うか、最新型のベンツを買うかの選択を若者に迫っておきながら「生めよ増やせよ」と言うのが日本の少子化対策みたいです。</p> <p>・地方に住む私たちには、大学や専門学校へ行っている子どもの住居費を仕送るという負担もプラスしなければなりません。</p> <p>もし1,000人の燕の子が東京の大学などで学んでいて、月に7万円の部屋代がかかる場合、毎月7,000万円もの金を東京都に支払っていることになります。</p> <p>Q③「教育立市宣言」をうたっている燕市として東京などに学生寮があっても…。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>(4) 『うらやましいフランスの少子化対策』</p> <p>フランスでは子どもが多いほど税金が安くなるなど勤労と育児が両立できる制度が導入されたりして出生率を1.6人台から2.07人に回復させています。</p> <p>・二十歳まで「子ども手当」が出るなど、子どもが成人するまで国の補助のあるフランスでの子育ては（日本では家計から1,300万円持ち出すのに対し）最終的には1,000万円トクするのだとか…フランスの少子化対策の重点が「子育て世代に経済的ゆとりをもたせる」なのです。</p> <p>Q④せめて市税において、子どもが多いほど課税が少なくなるフランス方式を採用できないか…。</p> <p>2. お年寄りや障がいのある人が安心して暮らせるツバメを…</p> <p>(1) 『高齢化社会は喜ばしいことなのに…』</p> <p>医療や食生活が改善されたから長寿の人が増えたので、本来は喜ぶべきことなのに、それを国などは「高齢化は非高齢者の経済負担と介護負担を増やす」などと、あたかも高齢化がヨロシクナイものごとく論点をずらして高齢化社会への対応をおろそかにしてきた感がしてなりません。</p> <p>『少子化は止めたいが、高齢化は止める必要はない』</p> <p>高齢化が進む中、たまたま少子化が同時進行したために「高齢化が非高齢者の経済負担と介護負担を増やす」結果になったのであって、お年寄りに肩身の狭い思いをさせる前に、まず国などのやるべきことは少子化を止めることのはずです。</p> <p>(2) 『去年600人、今年640人と特養待ちが増えているのに…』</p> <p>市は「施設介護よりも在宅介護を…」と言います。でも、いくら在宅介護がよくなっても介護の現場の大変さから施設介護の需要は減らないと見るべきです。</p> <p>Q⑤そもそも、在宅介護を施設介護と同等にするため、どれだけの予算を見込んでいるか…。</p> <p>市は「介護予防の充実を」とも言っていますが、その言葉をいくらとなえても特養待ちが増えている現実は現実です。</p> <p>・「せまりくる高齢化社会のために」と消費税を5%に引き上げ、そのうえ、介護保険料をとりながら「高齢化は非高齢者の経済負担と介護負担を増やす」などと高齢化に責任転嫁して高齢化社会への対応に手をこまねいてきたのが行政ではないのか…です。</p> <p>Q⑥「高齢化が非高齢者の介護負担を増やす」などと言いながら、非高齢者の介護負担を緩和するための介護施設の増設に積極的でないのは、結果、非高齢者に負担を強いていることでは…。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>(3) 『共生型介護を』</p> <p>今、高齢者向け施設と障がい者施設との仕切りをなくした「富山型デイサービス」が注目されています。</p> <p>介助なしでは立てなかったお年寄りが自分で立って小さな子の手を引いて歩く姿や、今まで寝たきりだったおばあちゃんが障がいのある人のためにお料理をはじめた姿が以前、テレビで放映されていました。</p> <p>Q⑦燕福祉会が、仲町商店街の商工会議所跡地にデイサービスなどの施設を作るにつけ、近所のお年寄りや登下校の子どもたちも利用できる施設にしたいという趣旨を、市として生かすべきでは…。</p> <p>Q⑧お年寄りも、子どもも、赤ちゃんも、障がいがあってもなくても、みんなと一緒に過ごせる富山型デイサービスの実現を求めたいが…。</p> <p>3. 少子高齢化社会を考えたマチづくりを…</p> <p>(1) 『親・子・孫のだんらんを…』</p> <p>郊外開発が進んで市周辺の大型店に押された旧商店街は衰退し、旧市街地もクシの歯がぬけた状態で、核家族化でマチに残された親たちは、冬の雪かきをはじめ、何をするにも子や孫にいてほしい毎日です。</p> <p>子育てにも、親・子・孫と一緒に暮らすことが望ましいと言われており（旧市街地での）現代にあった三世代住宅の普及が急がれます。</p> <p>Q⑨三世代住宅の改造への補助制度の導入を早急に求めたいが…。</p> <p>(2) 『旧商店街での市営の高齢者向けコレクティブハウス』</p> <p>今、神戸などの自治体では、震災のときに独居老人を仮設住宅で孤独死させた反省から、市営の高齢者向けコレクティブハウス（居住者が時々一緒に食事できるスペースをもつ集合住宅）の建設に取り組まれています。</p> <p>Q⑩西に弥彦、東に守門を望み、エレベーターで下りれば商店街…時々みんなで食事を楽しみ、いざとなったら近所の燕福祉会のサービスが容易に受けられる…そんな市営のコレクティブハウスがほしがられているのでは…。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	タナカ・キン	<p>1. 燕市循環、巡回バスの運行について</p> <p>分水地区に住んでいる市民が分水駅発8時20分の循環バス「スワロー号」に乗ると、9時05分に燕庁舎に着きます。それから、燕地区巡回バス「白ふじ号」に乗り、市内の施設に行こうとしても9時に出発するので乗れません。次の巡回バスは10時30分発です。これは一例ですが、市民サービスの向上のためにも時刻表の見直しを提案します。</p> <p>2. まちづくり協議会の再編成について</p> <p>8月4日に中央公民館で行なわれた市長の「ふれあいトーク」でのことです。市民からまちづくり協議会の再編成ができないかとの意見がありました。</p> <p>今現在、分水地区4、吉田地区4、燕地区5で13のまちづくり協議会があります。燕地区は5つの協議会ですが、無理に編成されています。東小学校は燕市の中心校ですが、まちづくり協議会では、保護者が2つのまちづくり協議会に分けられていて、何をしても困ってしまう。何とかならないかというものです。市民の意見はもっともだと思いますが、市長はどう思われたのでしょうか。</p> <p>また、合併当初は各まちづくり協議会に対し、均等の200万円の補助金が出ていました。現在はそれが見直しされ、均等割が60%、人口割が40%です。しかし、これでもまだバランスが悪く、より平等にするためにはさらなる見直しが必要と思うのだが。</p> <p>3. 入札について</p> <p>6月10日に執行された「燕市新庁舎建設に関するオフィス環境整備業務委託」は指名競争入札で行なわれ、予定価格900万円に対し3社が参加し、結果79万円で落札されました。落札率、実に8.78%です。これはどう考えたらいいのでしょうか。そもそも、予定価格の設定は誰がどのように設定するのですか。</p> <p>今年度執行された入札の中で、舗装工事関係では、どの入札でも制限価格と同額の業者が多く、毎回抽選で落札者が決定しています。11業者が参加してすべて制限価格と同額だったこともあります。これはどういうことなのかお聞きします。</p> <p>4. 迷惑空き地について</p> <p>住宅地の放置された土地が草ぼうぼう。こんな「迷惑空き地」が全国で広がっている。これは8月2日付の日本経済新聞の記事です。</p> <p>今現在、燕市でも多くあると思いますが、今後所有者の高齢化とともに深刻な問題となってきます。</p> <p>「ゴミなどの不法投棄等を誘発」「風景・景観の悪化」「火災の発生を誘発」「害虫の発生」など周辺に対しての悪影響が考えられます。</p> <p>仮に、燕市で迷惑空き地に対して、周辺住民から苦情の相談があったら、どんな対処ができるのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	タナカ・キン	<p>5. 新庁舎建設について</p> <p>8月3日、市長、職員それに私たち議員20数名で妙高市を視察し、庁舎を見学してきました。一級建築士の資格のある職員も同行し、庁舎内部をカメラに収めていました。</p> <p>妙高市の庁舎は平成20年の11月に完成しています。そして、燕の新庁舎と同じ梓設計が設計を担当しています。外観のガラス面、エコボイド、免震装置など、共通の造りが数多くみられます。</p> <p>議員の中では、会派別に見学に行ったり、私も市民の有志と今年の8月5日に見学に行きました。</p> <p>市も梓設計に決定してから、市民とのワークショップを行っています。議会でも今まで再三、新庁舎の構造などについて意見が出ていました。しかし、担当の職員が今まで妙高市の庁舎を見学していなかったというのは職務怠慢だと思いますが、他に理由があったら教えてください。</p> <p>妙高市では窓ガラスの清掃が年2回床の清掃が年4回で106万円かかるそうです。新庁舎はこれらの維持管理にいくらの予算を見込んでいますか。</p> <p>エコボイドも風の流れをあまり体感できず、窓はやはり開いたほうがいと話してくれました。受付もやはり暑いそうです。</p> <p>何度も言っています。ガラス張りの建物は、美術館やショッピングセンターなどではいいでしょうが、庁舎としても必要ないと思います。考え直すのは今のうちと思います。</p>